

煌庭 よくあるご質問

煌庭はどれくらいの期間、効果がありますか？

煌庭は5年間効果があります。

5年はISOで定められた厳格な試験の結果をもとにしており、非常に信頼できるデータです。

日本国内にて一般家屋のブロック塀で、煌庭をコーティングする面としない面を意図的に分ける試験をしたところ、7年以上が経過した現在でも、目で簡単に確認できるほど、汚れ方がまったく違うという結果も出ています。

ただし定期的なお掃除やケアが必要なこと、コーティングする素材や環境によって差が出ることはご承知ください。

特に効果の落ち込みが見られてからは、汚れの進行が加速することがあります。

常に良い状態を保つためには、3年ごとのケアを推奨しています。

煌庭は人体に悪い影響はありませんか？植栽にかかってしまっても大丈夫ですか？

煌庭には有害な物質が含まれておらず、コーティング面と液剤とも、人体に悪い影響がありません。動物・植栽にも悪い影響はありません。

煌庭は日本よりもはるかに環境に対する基準が厳しいヨーロッパで開発された製品です。

まず、コーティング面はとても安全です。

煌庭は外構ケアとしてエクステリア向けに開発されていますが、玄関、フロア、トイレ、お風呂場などの屋内にも幅広く使用できます。外構だけでなく、屋内のケアにもご利用ください。

また、製剤自体もとても安全です。

人体や動物、植栽などにも悪い影響を与えません。不快なおいもありません。

ただし施工時には、ゴム手袋やゴーグルなど、最低限の保護は必ず行ってください。

煌庭でコーティングする方法で、ベストな方法はありますか？

施工箇所によって最適な方法をお選びください。

まずはハケを用いた方法です。

ハケは手軽に扱いやすく、液剤が飛び散りにくいため、養生を簡単にできます。

反面、同じ面積で多くの液剤を使ってしまう傾向があります。また、塗る手間（時間）も多くかかります。

よってハケは、小さな面積へのコーティングに適しています。

次にローラーを用いた方法です。

ローラーは多少の慣れが必要です。慣れないうちは液剤が垂れたり、コーティングにムラがでたりします。

しかし作業に慣れば、ハケよりも速いスピードでコーティングできます。広い面積の場合は、ローラーを用いた方が楽です。ただローラーは、例えば化粧ブロックのような凹凸が大きい面には使用できない欠点もあります。

最後に噴霧器を用いた方法です。

噴霧器は液体肥料や除草剤をまくような、市販のもので大丈夫です。乾電池で動くタイプがとても楽です。

非常に手早く、広い面積、凹凸ある面にも楽にコーティングできます。

ただ液剤が飛び散りやすいので、養生には注意する必要があります。

駐車場などの床面コンクリートに使用する場合は、雑巾で拭くように伸ばしていくと、比較的均一にコーティングできます。面積が広い場合はモップでも容易に塗布できます。

煌庭でコーティングしたあと、どれくらい養生すれば良いですか？

煌庭をコーティングしたあとは、少なくとも 2 時間は雨に降られたり、水をかけたりしないように注意してください。特に夏場は乾燥も早く、乾燥後すぐに効果が発揮されるように見えますが、養生期間が十分でないとは定着に悪い影響が出る可能性があります。

天候をよく確認していただいて、翌日の同じ時間までは雨が降らないことを見極めてください。

なお、上を歩く、もしくは駐車は、乾燥後であれば OK です。

煌庭でコーティングしたあと、高圧洗浄をかけても大丈夫ですか？

高圧洗浄を使っても OK です。

煌庭はコーティング時に、コンクリートなどの細かい孔にまで浸透して、化学結合によって定着します。

塗布した建材そのものにさえダメージがなければ、高圧洗浄の他、デッキブラシを使っても OK です。

軽量ブロック、軽石、砂岩など表面の孔が大きい建材にも煌庭石を塗布できますか？

軽量ブロック、軽石、砂岩などにも塗布できます。

通常はこれらの孔がとても大きい建材に対しても、1 回塗りでも保護する効果は十分にあります。

もし 1 回塗り後のチェックで、水が内側に染み込んで見えるような状態であれば、もう 1 度塗り重ねてください。

注意していただく点は、多く塗り重ねたからといって、効果が上昇するわけではありません。

孔が大きい建材で、多少の水分の吸収があったとしても、コーティングの有無による差は、年月を経て必ず現れます。

1 ℓ あたり 8 ～ 10 m² の適量をもとに、過度の塗り重ねにはご注意ください。

駐車場の土間コンクリートにも使えますか？

土間コンクリートにも使用できます。土間コンクリートには煌庭【石】を使ってください。

打設したばかりのコンクリートは、ノロ（細かなセメントの粒）が浮き上がってくることもあるため、1 か月程度経過してからコーティングされた方が、より効果が長くなります。

駐車場などの平面部の場合、砂や細かなチリが上に積もってしまうため、効果がないと考えられる方がいるかもしれません。

しかし煌庭【石】がコーティングされていれば、上に積もった汚れを掃除するときに非常に楽になります。

また、コンクリートの強度を永く維持するためにも、煌庭【石】の塗布はオススメです。

煌庭樹は人工木（樹脂）のウッドデッキには使えますか？

木粉 50%・樹脂 50%のデッキ材であれば、煌庭【樹】を使用できます。ただし効果は限定的です。

煌庭【樹】は、水の内側への浸入を抑え、水による汚れや劣化を防ぐことが本質です。

人工木デッキは、デッキ面そのものが水を浸入させない特性を十分に備えており、コーティングによって機能が向上するわけではありません。

ただ人工木でもしっかりと定着し、表面の水汚れに対する耐性をつけることができます。

コーティングによって、水洗いの手間と頻度を緩和する効果は十分にあります。

煌庭石 盾どちらを使えば良いですか？

煌庭【石】と煌庭【盾】は、どちらも天然石・コンクリート・ブロックに使用する製品ですが、汚れや劣化を防ぐための方法に違いがあります。

通常は煌庭【石】を使ってください。汚れが特に気になる部分には、先に煌庭【石】をコーティングし、十分に乾燥させた上に、さらに煌庭【盾】をコーティングして仕上げてください。

煌庭【石】と煌庭【盾】の違いについてご説明します。

まず、煌庭【石】は表面から内部への水の浸入を防ぐ製品です。

ブロックに水が染み込むと、カビや藻が生えやすくなります。さらに白華、凍害による爆裂、鉄筋の腐食など、さまざまな問題が起こります。

逆に「水さえ抑えれば問題が解決できる。」といった方法で汚れや劣化から保護する製品です。

ただし排気ガスなど、水とは関係のない汚れを防ぐことはできません。

次に、煌庭【盾】は表面に光触媒効果を付与する製品です。

光触媒は付着する汚れを分解し、カビ菌も殺します。

表面を自己洗浄（セルフクリーニング）する方法で、汚れから保護する製品です。

ただし光触媒は、内部への水の浸入を防ぐことはできません。

例えばカビや藻に対しては、煌庭【石】は水の浸入を防ぐことによる抑制、煌庭【盾】は殺菌作用による抑制と、ともに十分に効果がありますが、方法には違いがあります。

例えば白華に対しては、煌庭【石】は内部への水の浸入を防ぐため効果がありますが、煌庭【盾】では水の浸入にはケアできないため、効果がありません。

例えばタバコの煙の汚れに対しては、煌庭【石】では効果がありませんが、煌庭【盾】は付着する煙の汚れをセルフクリーニングできるため効果があります。

外構に関しては、ブロックやコンクリートの汚れ・劣化は、主に雨が原因によるものが多いため、煌庭【石】でほぼ解決できます。ただ門柱など、よく目につく場所をもっとキレイに保ちたい場合は、煌庭【石】+煌庭【盾】の二重コーティングをおすすめいたします。その場合必ず煌庭【石】を先にコーティングして、24時間以上かけて十分に乾いてから、煌庭【盾】をコーティングしてください。

塗り壁材の汚れを落とす方法がありますか？

塗り壁材の汚れは、汚れの元が表面の細かい凹凸の奥深くに入り込んでしまっていることが多いです。

ブラシも入り込めず、高圧洗浄でかき出すことも困難であるため、汚れがひどい場合は、上塗り用の塗料で新しく塗りなおした方が、費用も時間もかかりません。

ただしせっかくキレイに上塗り補修したとしても、そこから何もしなければ、また汚れてしまいます。

汚れを抑えるためのケアが必要です。

塗り壁材のケアには、煌庭【盾】を使用してください。

光触媒の効果で汚れの付着を緩和でき、美しい壁を護ります。

塗り壁材に使用する場合は、2～3年ごとにコーティングしなおしてください。

また、日光が十分に当たる箇所であれば、少々汚れてしまった壁にも、煌庭【盾】をコーティングすることによって、汚れが目立たなくなることがあります。あくまで設計された効果ではありませんが、まだ汚れがさほどひどくない段階であれば、お試しください。

浄の詳しい使用方法について教えてください

煌庭【浄】は、カビやコケがついてしまったブロック塀・コンクリートをキレイにするための製品です。

まずはデッキブラシや高圧洗浄機を用いて、ある程度表面の汚れを除去してください。

しつこい汚れまで完全に除去する必要はありません。

次に煌庭【浄】を、希釈を一切せず原液そのまま、ハケ・ローラー・噴霧器などを用いて、水を塗るような感覚で塗布してください。

煌庭【浄】は周りの建築物や植栽などに悪影響を与えない製品ではありますが、養生は必ずしてください。

煌庭【浄】を塗布したら、24時間そのまま置きます。塗布した液がブロックの中まで浸透し、カビやコケを根元から殺菌できます。
24時間経過後は、水洗いまたは高圧洗浄をかけてください。

煌庭【浄】を使うと、ブロックから茶色いシミのような汚れが大量に浮き出てくる場合があります。見た目が非常に悪く、かえってひどく汚れたような状態となりますが、決して心配しないでください。

これは煌庭【浄】によってカビやコケの死骸が浮き出てくる現象です。1週間から1ヶ月ほど続くこともあります。

やがて雨によってキレイに洗い流されていきますが、雨が当たらないところは、よく水洗いしてください。

煌庭【浄】は漂白剤ではなく、菌に直接効果があります。ですからしばらくの間は抗菌効果が残り、カビやコケが発生しにくい期間が続きます。

キレイにしたあとで煌庭【石】および煌庭【盾】をコーティングすることで、より永くケアすることができます。